

総務省「実写コンテンツの製作人材の育成研修
ー世界基準のショーランナー&ドラマクリエイター育成ー」
(1) 製作ノウハウに関する研修

②Kードラマヒットに学べ！韓国派遣研修

公募説明会

2025/11/11

特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)内
「実写コンテンツの製作人材の育成研修(国内研修・韓国研修)」事務局

目次



実施概要	p 3
プログラムの内容 (1)事前学習	p 5
プログラムの内容 (2)実地研修	p 6
実地研修スケジュール	p 7
応募方法	p 8
選考の観点	p 9
留意事項	p 10

実施概要



「Kードラマヒットに学べ！韓国派遣研修」(以下、本研修)では、海外展開を目的とした放送コンテンツ製作に今後携わる方および意欲のある方に、海外展開や海外コンテンツ事業者との協業を見据えた企画開発や企画提案を将来的に目指していくために必要な要素を体感していただきます。

世界水準の放送コンテンツ製作に必要な要素について、韓国の実写コンテンツの製作手法と海外展開に向けた取組から学ぶとともに、韓国との人的ネットワークを構築する機会をご提供いたします。

実施概要



対象・要件	・国内の放送事業者、番組製作会社等に勤務しているドラマのプロデューサーやディレクター(アシスタントプロデューサーや演出補(助監督)といった若手スタッフの方も可)のうち、以下の要件を満たす方を対象とします。 ●韓国との共同製作に意欲をお持ちの方 ●「1. (1) 事前学習」「1. (2) 実地研修」の全行程に参加できる方(事務局で確保したホテルに宿泊できる方)
スケジュール	・公募説明会: 11/11(火) ・公募受付期間: 11/11(火)-12/10(水)17:00〆切 ・選考期間: 12/11(木)-12/17(水) ・選考結果通知予定日: 12/22(月)
実施期間	事前学習 2026年1月13日(火)15:00-17:15(オンライン) 実地研修 2026年1月19日(月)午後～1月21日(水)夕方 (韓国現地での実地研修。現地集合・現地解散)
採用人数	最大10名を公募により採択します
費用	・参加費、現地での宿泊費や事務局が手配した交通手段に係る交通費は無料 ・上記以外の費用(例:韓国への往復航空運賃・日本国内移動旅費・研修開始集合場所までの韓国における交通費等)は参加者負担
通訳	日本語 韓国語(逐次通訳)

プログラムの内容

(1)事前学習

概要	韓国での研修の準備として、事前にコンテンツ産業の仕組みや取組み、映像製作について理解を深めるために事前学習を行います。				
日程	2026年1月13日(火) 15:00～17:15				
開催場所	オンライン				
学習内容	#	トピック	講師候補		時間
	1	主催者挨拶	岡山宏二	総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 放送コンテンツ海外流通推進室長	5分
	2	参加者紹介			10分
	3	韓国のコンテンツ産業とその概況	李 惠恩 (イ・ヘウン)	韓国コンテンツ振興院 東京ビジネスセンター センター長	45分
	4	日韓国際共同製作に関して	千 載沅 (チョン・ジェウオン)	ジャユロ・ピクチャーズエンターテイメント プロデューサー・代表取締役	40分
	5	韓国研修先の説明	朴 惠暎 (パク・ヘヨン)	サーチアンドカンパニー・常務／ジェットロソウル・コンテンツ分野コーディネーター	25分
	6	韓国研修オリエンテーション		研修機関(VIPO)	10分

・全編日韓の逐次通訳を入れる予定です。

・2025年11月実施の「世界基準を目指せ！ドラマクリエイター集中講座」の講義のうち「海外展開概論②韓国の概況」のアーカイブ映像もご提供いたしますので、ご希望に応じてご視聴ください

プログラムの概要

(2) 実地研修

概要	・韓国放送事業者や番組製作会社の実写コンテンツ制作に関する様々な取組を学びます ・韓国との人的ネットワークを構築することを目指し、日韓のプロデューサー・ディレクター等の放送コンテンツ制作関係者交流会を開催します
日程	2026年1月19日(月)午後～1月21日(水)夕方（現地時間）
開催場所	韓国・ソウル（現地集合・現地解散）
内容	①韓国の放送事業者・番組製作会社訪問 6社予定 ②韓国のスタジオ視察 ③韓国の放送事業者・番組製作会社のプロデューサー・ディレクター等との交流会を実施
宿泊先	龍山(ヨンサン)駅付近ホテルを予定(事務局手配)

実地研修スケジュール

- ✓ 参加者は研修開始時間までに指定の場所までお越しください。集合時間、場所等については、参加予定者に対し個別にご案内いたしますが、1月19日(月)13:30に龍山(ヨンサン)駅周辺の宿泊ホテルロビーを予定しています。(現地集合、現地解散なので、前後の日程に他の予定を入れていただいても結構です)。

Day	行程(予定)		テーマ(予定)	訪問先候補
1	午後	市内ホテル集合～移動・車中軽食		
		研修①	ケーススタディ:国際共同製作の新たな取組	Blintn ＜コンテンツ投資会社、データベース運営＞
			・国際的なプロジェクトへの投資に積極的な企業から韓国コンテンツ産業のリアルを学ぶ。 ・日本コンテンツに期待されることをヒアリングし、今後の製作に活かす。	
		移動		
		研修②	ケーススタディ:国際共同製作 日本版リメイクを生んだ、オリジナルドラマの力	A Story ＜番組製作会社＞
			・日本でリメイク版がヒットしたオリジナルドラマがどのように生まれたか。韓国ドラマのリメイクを考えるきっかけとする。	
	移動			
夜	＜参加者懇親会＞ 参加者同士の交流をはかる		市内レストラン	
2	午前	集合～移動		
		研修③	ケーススタディ:『ストーブリーグ』における日韓共同プロジェクト	SBS Media Group STUDIO S ＜放送事業者・番組製作会社＞
			・韓国ドラマのリメイクを国際共同製作した事例。様々な国際共同製作の形を知ることの可能性を拡げる。	
	移動～昼食			

実地研修スケジュール



Day	行程(予定)		テーマ(予定)	訪問先候補
2	午後	研修④	ケーススタディ:日韓共同製作企画の新たなビジネスモデル	SAMHWA NETWORKS ＜番組製作会社＞
			・日本IPリメイクの実績をヒアリングする。様々な国際共同製作の形を知ることで可能性を拡げる。	
		移動		
		研修⑤	ケーススタディ:第1次韓流ブームから現在まで	PAN ENTERTAINMENT ＜番組製作会社＞
			・『冬のソナタ』製作会社が、現在の取組＜ドラマ×音楽×配給のクロスメディア戦略＞を紹介。韓流ブーム・Kコンテンツブームの原点を知ること、日本コンテンツを考える。	
	移動(～ホテル)			
夜	＜日韓放送コンテンツ製作関係者の交流会＞ 韓国との人的ネットワークを構築することを目指し、 日韓のプロデューサー・ディレクター等の放送コンテンツ製作関係者の交流会を開催 日本参加者10名+韓国ゲスト15-20社程度		ソウル市内ホテル バンケットルーム(予定)	
3	午前・後	チェックアウト～集合～移動		
		研修⑥	韓国最大級スタジオ視察	CJ ENMスタジオセンター ＜放送事業者・番組製作会社＞
			・世界トップクラスのスタジオを見学。韓国を代表する総合エンターテインメント企業の多岐にわたる事業や戦略から、これからの日本コンテンツ産業を考える。	
	解散～移動(金浦空港)			

- ✓ プログラム期間中は、昼食・夕飯含めて、全員一緒に専用車両等で移動予定です。
- ✓ 最終日は、最終プログラム訪問先の現地解散(16:00予定)、または、金浦空港解散(17:00予定)を選択していただきます。
なおフライトの予約時間等は、十分な余裕を見て確保いただくようお願いいたします。
- ✓ 研修期間中は本研修に集中できるよう、業務等を調整してご参加ください。

応募方法

◆ 提出書類:

1. 申請書兼本人承諾書

- ・ 公募サイト上の指定様式を利用
 - ✓ 応募者情報(名前、連絡先、年代、性別、学歴・職歴)
 - ✓ 所属先情報(企業名、企業公式HP、役職、勤続年数、加盟団体、その他)
 - ✓ 制作実績(制作時期、作品タイトル、ジャンル、放送局、役割)
 - ✓ 語学力(韓国語・英語／ネイティブ・ビジネスレベル・日常会話レベル等)

2. 参加動機

- ・ 様式自由、A4縦、400文字程度

3. 企画書 ※任意

- ・ 主に韓国の放送事業者・番組製作会社との共同製作を想定する企画案
- ・ 様式自由、1作品あたりA4縦1枚、合計2作品まで
- ・ なお、企画書は選考のためにのみ使用し、本研修内で企画書を使用したり、講師等からコメント等はいたしません

4. 所属組織上長の確認書 ※任意

- ・ 公募サイト上の指定様式を利用



◆ 選考の観点:

- 実績
 - ・ ご自身が製作担当として関わったドラマ作品が1つ以上あること
- 意欲
 - ・ 海外、特に韓国との具体的な協業イメージや熱意があること

留意事項

◆ 費用負担:

- 参加費、現地での宿泊費・研修機関や事務局が手配した交通手段に係る交通費は無料（事務局で確保したホテルに宿泊すること）
- 上記以外の費用（例：韓国への往復航空運賃・日本国内移動旅費等）は参加者負担

◆ 修了証の発行:

- 研修終了後、実地研修の全日程に参加し基準を満たした研修者に対し、修了証を交付

◆ 研修終了後の対応

- 研修参加者には研修機関や事務局が実施する調査（アンケート等）に協力すること
- 2026年2月末～3月上旬を目途に実施する、参加者・関係者を対象とした報告会に可能な限り参加すること
- 本研修にかかる守秘義務は、研修終了後も継続して適用されますので、ご留意ください